

平成 30 年度

要 覧



鹿児島県立博物館

館 旗



制 定 日 昭和57年7月2日

モ チ ー フ 「鹿児島県自然」

「内側の赤い円」……太陽と火山

「大きな青緑の円」……黒潮と緑の大地

「白い鳥」……生物

豊かな自然の中で、大きな翼をもち、ひらけゆく
未来に向かってはばたく博物館を象徴する。

デ ザ イ ン 鹿児島県立川内商工高等学校（昭和57年）

教諭 滝 下 隼 人

目 次

1	鹿児島県立博物館のあゆみ	2
(1)	沿 革	2
(2)	歴代館長	3
2	施設・設備の概要	4
(1)	館内配置図	4
(2)	施設・設備	5
(3)	施設用途別面積	5
3	平成30年度県立博物館運営方針と努力点	6
(1)	運営方針	6
(2)	努力点	6
4	組織及び職員	7
(1)	組 織	7
(2)	職 員	7
5	平成30年度 県立博物館事業体系表	8
6	博物館活動事業	9
(1)	資料収集・保管	9
(2)	調査研究	11
(3)	展示活動	13
(4)	教育普及活動	18
7	平成30年度 年間行事予定表	21
8	平成29年度 主要事業等の経緯	24
(1)	活動経緯	24
(2)	企画展等	25
(3)	資料収集・保管活動	25
(4)	調査研究	25
(5)	教育普及活動	26
(6)	博物館利用状況	30
9	博物館利用の案内	31
(1)	入館の手順	31
(2)	見学に要する時間と収容人員	31
(3)	団体見学の申込	31
(4)	博物館の場所と交通手段	32
(5)	そ の 他	32

【表紙写真】

本館3階自然総合展示室B
(鹿児島の人々と自然のつ
きあい方)

平成30年4月27日にリニュー
アルオープン。

1 鹿児島県立博物館のあゆみ

(1) 沿革

ア 旧館時代 明治 16(1883)年～昭和 55(1980)年

明治16年 9月	○旧考古資料館の建物（旧県立興業館）竣工落成
大正 3年 4月	○大正 3年 1月の桜島噴火関係資料保存展示のため、県立図書館内に博物部常任委員会を発足
4年 8月	○県立図書館内に郷土博物室を設置、動植物・考古・民俗等の自然や人文関係の資料収集開始
昭和 2年10月	○現博物館本館の建物（旧県立図書館）竣工落成
26年11月	○昭和20年戦災焼失した県商工奨励館を博物館として再建（工事費250万円）
昭和28年 3月	○再建した建物に資料を移し、鹿児島県立博物館として発足 ○鹿児島県立博物館設置条例制定
38年 6月	○「ウシウマの骨格」が県指定天然記念物に指定（17日）
50年 1月	○考古・民俗等の人文資料を明治百年記念館調査室に移し、「鹿児島の自然」をテーマに統一し、館内資料を整理
54年 7月	○新博物館構想策定委員会発足（5日）
9月	○展示シナリオ作成委員会発足（26日）
55年 4月	○鹿児島県立博物館組織規則改正、専任館長任命
11月	○旧県立図書館を新博物館として改装工事完了（15日）
12月	○新博物館展示工事完了（25日）

イ 県文化センター 科学館時代 昭和 38(1963)年～昭和 55(1980)年

昭和38年 7月	○県文化センター調査事務局設置（24日）
39年 2月	○基本構想（文化会館と科学館との併設）が知事に答申
40年 1月	○小川勇吉氏より、恐竜化石（2体）、アンモナイト、三葉虫、その他の化石434点が、鹿児島県に寄贈（29日）
7月	○県文化センター建設工事起工（16日）
41年11月	○県文化センター開館（15日） プラネタリウム室、恐竜化石展示室、理工系展示室、実験室を備えた科学館を県文化センター内に開設
55年 3月	○プラネタリウム投影機更新（30日）
56年 1月	○プラネタリウム室、恐竜化石展示室は現状のまま県立博物館に引き継がれ、実験機器、理工系展示資料は、現県立博物館本館に移管される。

ウ 新館時代 昭和 56(1981)年～

旧県立図書館が新博物館に改装されたのに伴い、旧博物館の建物は考古資料館として整備され、県文化センター科学館の展示資料は新博物館3階の理工系展示場に移管・展示された。また、プラネタリウム・恐竜化石展示室は、そのままの状態で見守りながら新博物館に引き継がれ現在に至っている。

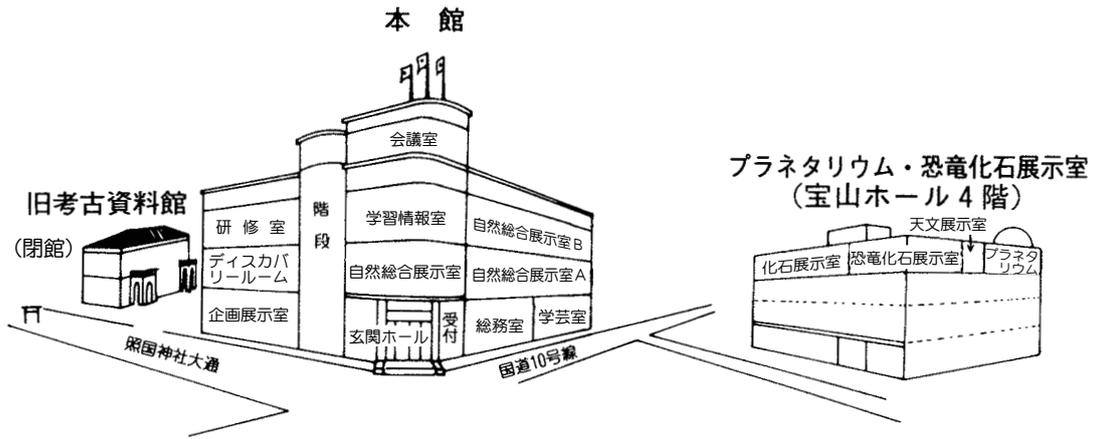
昭和56年 1月	○鹿児島県立博物館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定（1日） ○鹿児島県立博物館協議会条例制定（1日） ○鹿児島県立博物館新館開館式挙行（12日）、博物館としての登録（12日）
3月	○鹿児島県教育委員会の行政組織等に関する規則の一部を改正する規則制定 ○附属機関設置（鹿児島県立博物館協議会）
57年 7月	○館旗制定（モチーフ「鹿児島の自然」、デザイン「滝下隼人氏」）（2日）
58年 6月	○プラネタリウム室使用料の減免措置実施（12日）
7月	○皇太子殿下、皇太子妃殿下博物館行啓訪問、本館御見学（28日）
59年 4月	○「路傍300種に親しむ運動」開始（3か年計画）
60年 4月	○「身近に親しむサイエンス」推進事業開始（3か年計画）
61年 5月	○昭和56年からの入館者100万人達成（11日）
62年 4月	○「みんなで創る博物館」推進事業開始
7月	○鹿児島国際火山会議特別展「火山とくらし」開催（14～24日）
平成 2年 9月	○理工系展示室閉鎖、自然史応用部門展示室として改装工事始まる。
3年 2月	○展示場改装及びボリビア産化石展開場式挙行（15日）
4月	○収蔵資料目録作成事業開始（3か年計画）
4年 5月	○自然のつながりリサーチ事業開始（5か年計画）
5年 4月	○鹿児島の自然調査事業開始（5か年計画）
7月	○学習情報室開設
8月	○考古資料館実態調査

11月	○昭和56年からの入館者200万人達成（9日） ○博物館連携協力事業（国立科学博物館共催） 「博物館地域科学活動指導者セミナー」（13～14日）
6年2月	○考古資料館 内装及び外庭整備
8月	○創設40周年記念特別企画展「鹿児島と世界の大昆虫展」 （入館者数46,834人）（展示会場：黎明館）
7年4月	○自然へのアプローチ普及活動事業－博物館がやってきた－開始
8月	○考古資料館屋根の葺替え
8年4月	○本館2F常設展示及びエントランスホール整備事業開始
9年3月	○本館外壁工事完了
4月	○本館2F展示場改装開場式挙（19日）
10年4月	○親と子の自然観察ゼミナール事業開始（5か年計画）
12月	○博物館自然資料整備事業開始（3か年計画）
11年10月	○考古資料館登録有形文化財に登録（11日，第1号）
12月	○本館2F屋久島ジオラマ修復工事完了
12年8月	○プラネタリウム椅子取り替え工事完了
13年4月	○文部省 科学系博物館活用ネットワーク推進事業開始（2か年計画）
14年1月	○触れ見る知る自然資料収集整備事業開始（5か年計画）
4月	○昭和56年からの入館者300万人達成（10日）
11月	○「自然に飛び出せ／子ども学芸員」育成事業開始（5か年計画）
15年7月	○考古資料館閉館（5日）
16年7月	○本館耐震補強及び収蔵庫改築工事着工。 （本館は7月1日より休館，県立図書館3階に仮事務所設置）
18年3月	○本館耐震補強及び収蔵庫改築工事完了（本館は8月1日より開館）
18年4月	○旧収蔵庫解体工事完了
19年6月	○郷土の豊かな自然遺産資料収集整備事業開始（5か年計画）
20年3月	○特別整理休館日を設置（常設展示リニューアル開始）
20年3月	○フィールドワーカー養成講座（科学技術振興機構助成）開始
4月	○身体障害者用駐車場が完成
4月	○博物館本館登録有形文化財に登録（18日，第65号）
4月	○旧考古資料館前ソテツ「世界ではじめて精子が発見されたソテツ」として県指定天然記念物に指定（22日）
21年5月	○第1回「博物館まつり」開催（24日）
22年5月	○SPP事業「屋久島の自然から学ぼう」実施（15日：以後12月まで全6回）
23年4月	○豊かな鹿児島の自然遺産収集保存事業開始（5か年計画）
8月	○立体映像（3D）投影装置リニューアル（12日）
24年2月	○エレベーター更新（28日）
3月	○昭和56年からの入館者400万人達成（24日）
25年6月	○恐竜化石リニューアル・音声ガイド導入（30日）
27年3月	○「桜島大正大噴火写真展」（～平成26年1月）
4月	○桜島大正大噴火100周年記念 特別企画展「桜島火山100年の軌跡」（～9月）
28年4月	○収蔵資料データベース公開
28年4月	○「薩摩隕石」が県指定天然記念物に指定（11日）
29年1月	○人と共に生きる鹿児島の自然遺産収集保存事業開始（5か年計画）
30年4月	○収蔵資料の「スレッドレーススコリア」が県指定天然記念物に指定（19日）
30年4月	○スマートフォンでの展示解説サービス開始（11日）
30年4月	○本館3階自然総合展示室Bリニューアルオープン（27日）

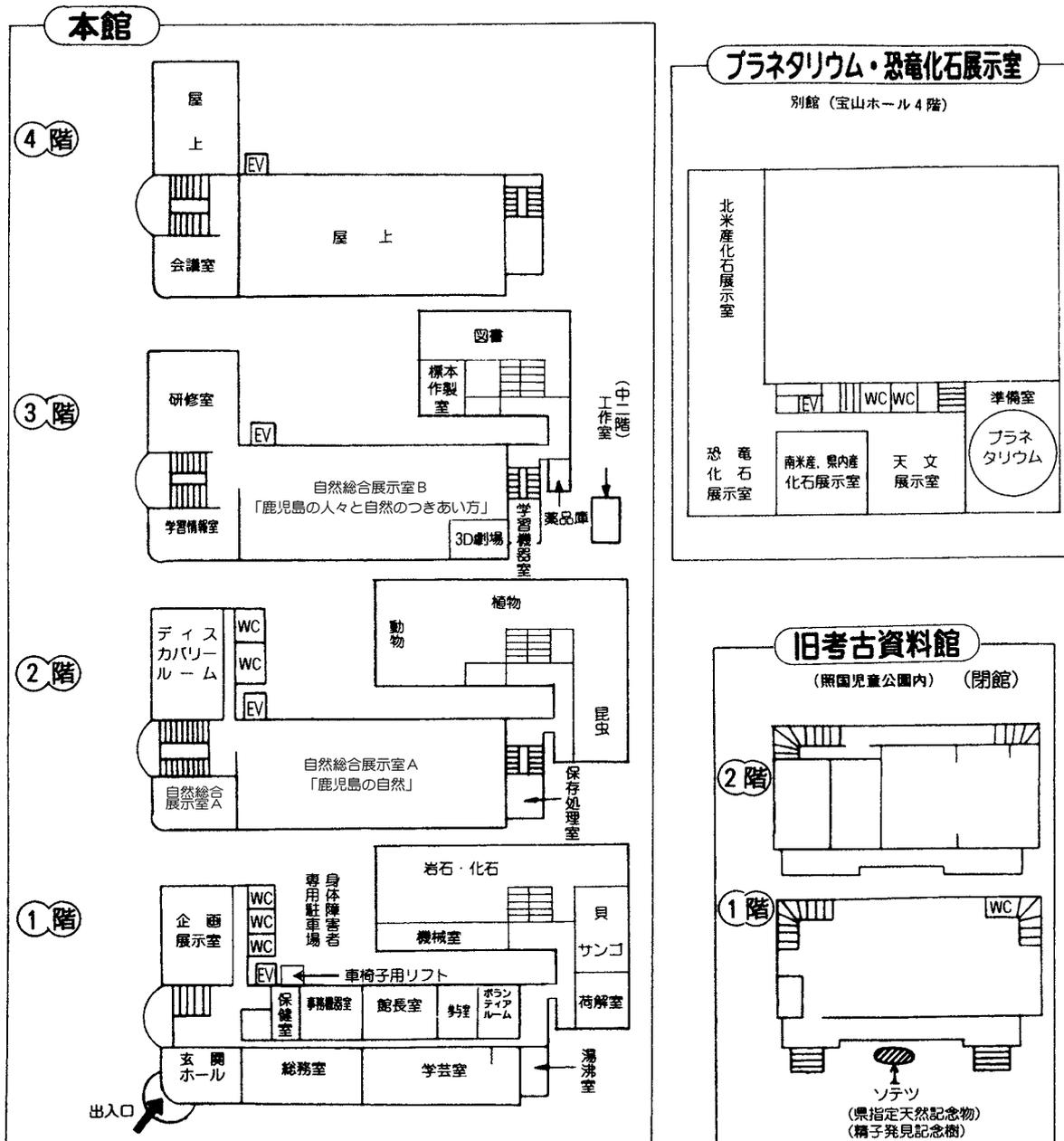
(2) 歴代館長

館長名	在任期間	館長名	在任期間
1 久保田 彦 穂	昭和28年3月～昭和41年3月	14 田 尻 昌 也	平成6年4月～平成8年3月
2 山 下 巖	" 41年4月～ " 45年3月	15 井出口 龍 哉	" 8年4月～ " 10年3月
3 寺 師 次 夫	" 45年4月～ " 47年8月	16 永 喜 久 一	" 10年4月～ " 13年3月
4 犀 川 碓 吉	" 47年8月～ " 50年3月	17 畑 田 健 治	" 13年4月～ " 15年3月
5 宇 都 哲	" 50年4月～ " 51年3月	18 原 田 正 美	" 15年4月～ " 16年11月
6 嶋 元 牧 雄	" 51年4月～ " 53年3月	19 鷺 東 重 明	" 16年11月～ " 17年3月
7 谷 崎 哲 夫	" 53年4月～ " 54年3月	20 椎 原 和 郎	" 17年4月～ " 19年3月
8 山 下 典 夫	" 54年4月～ " 55年3月	21 黒 江 修 一	" 19年4月～ " 22年3月
9 前 村 義 巳	" 55年4月～ " 58年3月	22 山 下 和 則	" 22年4月～ " 24年3月
10 桑 原 一 廣	" 58年4月～ " 59年3月	23 水 流 芳 則	" 24年4月～ " 27年3月
11 北 原 昭 男	" 59年4月～平成元年3月	24 川 原 裕 明	" 27年4月～ " 29年3月
12 福 田 晴 夫	平成元年4月～ " 4年3月	25 中 間 弘	" 29年4月～ " 30年3月
13 立 園 多 賀 生	" 4年4月～ " 6年3月	26 福 永 広 隆	" 30年4月～

2 施設・設備の概要



(1) 館内配置図



(2) 施設・設備

本館（登録有形文化財 第46-0065号）

区分	面積 (㎡)	主な内容
1階	676.61	企画展示室, 館長室, 総務室, 参与室, 学芸室, ボランティアルーム
2階	652.68	自然総合展示室A, ディスカバリールーム, 保存処理室
3階	629.72	自然総合展示室B, 研修室, 学習情報室, 3D劇場, 学習機器室
4階	119.55	会議室
収蔵庫	798.54	第1～第3収蔵庫, 薬品庫
その他	42.60	エレベーター室
延床面積	2,919.70	
建築面積	1,007.96	
敷地面積	1,856.13	

全館 (㎡)

延床面積	4,764.82
建築面積	1,345.44
敷地面積	2,400.03

プラネタリウム・恐竜化石展示室

区分	面積 (㎡)	主な内容
プラネタリウム	190.04	星座投影室, 準備室
天文展示室	85.80	天文資料展示室
化石展示室	454.55	恐竜, アンモナイト, 三葉虫など
バルコニー	152.40	
その他	287.36	廊下など
延床面積	1,170.15	

旧考古資料館（登録有形文化財 第46-0001号）

区分	面積 (㎡)
1階	337.48
2階	337.49
延床面積	674.97
建築面積	337.48
敷地面積	543.90

(3) 施設用途別面積 (旧考古資料館除く)

(㎡)

区分	室名	展示面積	教育普及面積	保管面積	研究面積	管理・その他	計
本館	館長室					30.60	30.60
	参与室					20.40	20.40
	総務室					62.40	62.40
	学芸室				78.00		78.00
	ボランティアルーム				25.50		25.50
	事務機器室					30.60	30.60
	企画展示室	87.12					87.12
	2階自然総合展示室A	424.02					424.02
	ディスカバリールーム	101.08					101.08
	保存処理室				20.25		20.25
	3階自然総合展示室B	353.70					353.70
	研修室		120.12				120.12
	学習情報室		70.32				70.32
	学習機器室				14.18		14.18
	収蔵庫(1～3)				798.54		798.54
	会議室					68.76	68.76
	階段・廊下等					614.11	614.11
計		965.92	190.44	798.54	137.93	826.87	2,919.70
プラネタリウム	プラネタリウム・恐竜化石展示室	639.39	91.00				730.39
	準備室等			10.24	24.29	405.23	439.76
	計	639.39	91.00	10.24	24.29	405.23	1,170.15
合計		1,605.31	281.44	808.78	162.22	1,232.10	4,089.85
全面積に占める割合		39%	7%	20%	4%	30%	100%

3 平成30年度 県立博物館運営方針と努力点

(1) 運営方針

「あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり」をすすめるため、生涯学習環境充実の観点から、自然資料の収集や調査、研究を積極的に行って、博物館活動の基盤づくりを推進する。また、展示や教育普及等を通して県民が郷土の豊かな自然に親しみ、触れ合う機会の拡充を図り、広く県民へ郷土の豊かな自然に関する情報を提供することで、生涯学習の場として、県民に親しまれる開かれた博物館づくりに努める。

(2) 努力点

市町村教育委員会や学校及び関係機関・団体等と連携しながら、次の博物館活動を推進する。

ア 資料収集・保管

教育的・学術的に価値の高い自然資料を計画的・継続的に収集するとともに、収蔵資料の有効な活用が図れるよう整理保管する。

イ 調査・研究

資料に関する調査・研究を推進するとともに、郷土の豊かな自然を総合的に調査・研究し、その成果を広く県内外に発信する。

ウ 展示

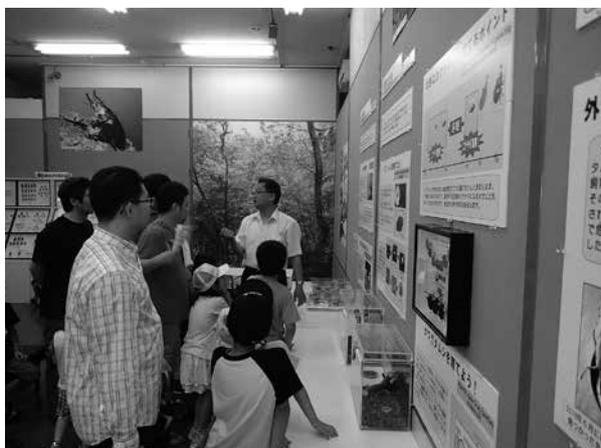
常設展示の工夫・改善を積極的に推進し、魅力ある企画展や速報展等の開催及び館外で実施する移動展示など、県民の多様なニーズに対応した展示活動を展開する。

エ 教育普及

県民が気軽に参加できる活動を推進するとともに、自然科学に関する最新情報の提供等を通して、県民の自然に対する理解と関心を高める。また、教職員の研修や児童・生徒の理科学習、「総合的な学習の時間」等への支援を積極的に行う。

オ ボランティア活動の支援

中・高校生をはじめ県民が博物館ボランティアとして積極的に活動し、充実した経験ができるよう積極的な支援を行う。



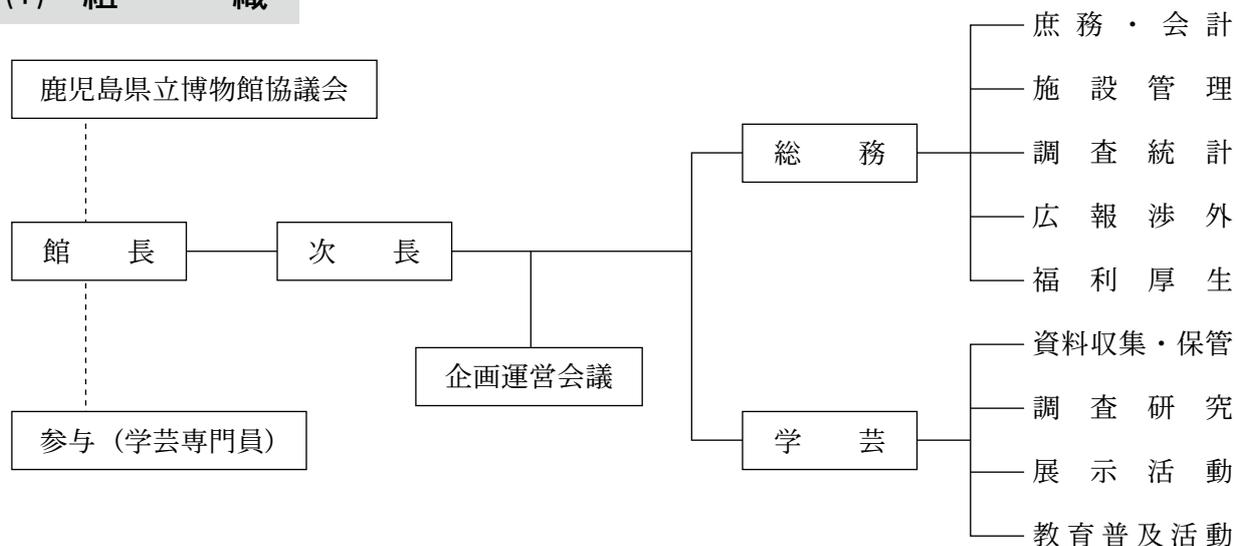
企画展示解説



移動博物館

4 組織及び職員

(1) 組織



(2) 職員

ア 職員数

常勤職員						非常勤職員				合計
館長	次長	主査	主任学芸主事	学芸主事	計	参与	学芸指導員	学芸調査員	計	
1	1	1	1	6	10	1	8	3	12	22

イ 職員一覧

〈常勤職員一覧〉

職名	氏名	担当
館長	福永広隆	館務総括
次長	吉永義広	館長補佐
主査	外園賢治	庶務会計
主任学芸主事	長船祐介	学芸総括
学芸主事	鈴東淳	天文
"	池俊人	脊椎動物
"	多久島徹	地質
"	金井賢一	無脊椎動物
"	羽有俊浩	自然史全般
"	久保紘史郎	植物

〈非常勤職員一覧〉

職名	氏名	担当
参与	山下和則	博物館振興
学芸指導員	森田康夫	自然史全般
"	兼芳章	"
"	町田幸一	天文・化石
"	木ノ下真弓子	自然史全般
"	日高志穂	"
"	岩川愛	"
"	久野哲	"
"	内徳綾乃	"

5 平成30年度 県立博物館事業体系表

資料収集・保管	(1)	ア 県内における動物・植物・岩石・化石等の自然資料の収集・保管 (ア) 「人と共に生きる鹿児島県の自然遺産」収集保存事業 (イ) 博物館活動による資料収集事業（奄美，トカラ，県本土等） (ウ) 資料交換，購入，寄託・寄贈等による収集・保管
		イ 収集資料の標本化（はく製・レプリカ等）
		ウ 博物館収蔵資料管理システムの導入，資料整理・データベース化
調査研究	(2)	ア 自然に関する調査研究（屋久島，種子島，甌島，県本土等）
		イ 博物館活動推進に係る調査
		ウ 調査・研究報告書の刊行
展示活動	(3)	ア 常設展示 (ア) 自然総合A（本館2階） ・「鹿児島の自然」（海，川と湖沼，山，大地） ・ディスカバリールーム（体験コーナー） (イ) 自然総合B（本館3階） ・「鹿児島のひと々と自然のつきあい方」 ・楽しい実験コーナー，3D劇場（とび出す映像） (ウ) プラネタリウム・恐竜化石（別館 宝山ホール4階） ・プラネタリウム…一般投影（四季の星空） 学習投影（幼児用，小・中学生用） ・天文展示室…デジタル四次元地球儀，プラネタリウムの仕組み展示 ・恐竜化石展示室…恐竜化石，南北アメリカ産化石，本県産化石の展示
		イ 企画展示等 ・企画展「マングローブとゆかいな生きもの」 (3/24～6/10) ・企画展「チャレンジ理科研究」 (7/1～9/2) ・企画展「毒あります」 (7/7～9/9) ・企画展「理科に関する研究記録」 (9/23～10/8) ・蔵出し博物館「奄美大島・徳之島の自然」 (9/29～11/25) ・企画展「子供にも伝えたい生物多様性」 (12/22～2/24) ・企画展「輝く石の世界」 (3/23～6/9)
		ウ 移動展示（移動博物館事業－博物館がやってきたー） 第1回：出水養護学校 (11/1) 第2回：瀬戸内町 (12/6～9)
		ア 博物館科学教室（原則として毎月第1・3日曜日，夏休み期間中）
		イ 博物館天文教室（原則として毎月第2・4日曜日）
		ウ 楽しい実験（毎週土・日曜日，1日3回）
		エ 博物館教養講座
		オ パワーアップ研修
		カ フィールドワーカー養成講座
		キ 教育支援活動（出前講座：教育機関，市町村教育委員会，学校等）
ク 博物館学習情報室の活用（自然科学の情報提供及びレファレンス）		
ケ 標本資料等の貸出し（はく製や標本，ディスカバリーBOX等）		
コ 広報活動の推進（月行事表等の発行など）		
サ ボランティア支援活動（中・高校生ボランティアの会，博物館ボランティアの会）		
シ 博物館まつり（県立博物館本館・別館：5/20）		

6 博物館活動事業

「博物館法」及び「鹿児島県立博物館の設置及び管理に関する条例」に規定する博物館設置の目的を達成するため、博物館活動の基本である「資料収集・保管」、「調査研究」、「展示活動」、「教育普及活動」の各事業を実施する。

事項名	博物館活動事業概要
資料収集・保管	資料の収集(採集, 購入, 製作等), 資料の整理・保管, データベース管理
調査研究	自然や科学に関する調査・研究, 研究報告書刊行, 配布
展示活動	常設展示の更新補充, 特別企画展, 企画展, 速報展, 移動展示の実施
教育普及活動	プラネタリウム, 天文教室, 楽しい実験, 科学教室, 学習支援, レファレンス対応等

(1) 資料収集・保管

ア 博物館資料収集・保管事業

(ア) 目的

- ・鹿児島県本土や甕島, 種子島や屋久島の自然資料を中心に, 必要に応じて県外・外国産も加え, 年次計画のもとに収集・保管して調査研究, 展示活動, 教育普及活動等への活用を図る。

(イ) 事業内容

- ・県本土等の自然資料を収集し, 標本化して保存する。生態写真等の二次資料の収集も計画的に行う。
- ・将来的に移動博物館事業を実施する予定地域の自然資料収集を行う。
- ・収蔵資料の整理と保管及びデータベース化の充実に努める。

(ウ) 資料収集予定地域

- ・鹿児島県本土や甕島, 種子島や屋久島

イ 「人と共に生きる鹿児島の自然遺産」収集保存事業（平成28年～平成32年度）

- (ア)・トカラ列島や三島, 奄美群島等において, 学術的価値の高い自然資料を収集して, 標本化して保存し, 次代に引き継ぐと共に, 学校教育や県民への情報の提供等への活用を図る。

(イ) 事業内容

- ・トカラ列島や三島, 奄美群島を中心に, 貴重な自然資料の実物資料や映像資料等の収集を行う。

(ウ) 資料収集予定地域

- 28年度 奄美高島部（奄美大島本島）, トカラ（口之島）, 甕島, 屋久島, 南薩
 29年度 奄美高島部（奄美大島本島）, トカラ（小宝島, 悪石島）, 口永良部島
 30年度 奄美高島部（瀬戸内町）, トカラ（小宝島, 悪石島）三島（黒島）
 31年度 三島, 奄美高島部, トカラ
 32年度 奄美低島部, トカラ, 三島

過去の資料収集事業実績

	平成28年度	平成29年度
動物	種子島でマングロープ水生動物映像資料収集 口之島でクチノシマトカゲ等写真資料収集	小宝島でトカラハブ等を収集 鳥類・哺乳類を収集（県内各地） 南さつま市マングロープに生息する水生動物の収集 ニホンマムシ，ヤマカガシを収集
昆虫	口永良部島で火砕流地帯のアリ収集 口之島の昆虫収集	口永良部島での昆虫収集 小宝島でチョウ，ハチ，甲虫の収集 新島（鹿児島湾）の昆虫収集 鹿児島港本港区のハイイログケグモ収集 甫与志岳山麓の灯火採集
植物	口永良部島，屋久島，種子島，口之島，甌島で植物の実物標本及び写真資料を採集	悪石島で仮面神ボゼに関する画像，動画資料の収集 奄美大島で企画展用ヒルギ類の収集
地質	口永良部島，口之島で火山噴出物や岩石の採集及び火砕流被害写真等の収集	口永良部島で地質関係資料の収集 霧島市横川町で入戸火砕流堆積物の軽石収集 霧島市横川町中ノの天降川流域で砂金採集 指宿市開聞川尻海岸でオリビン収集
天文	H-IIロケット発射映像資料収集 天体写真収集	イプシロンロケット発射映像資料収集 天体写真収集
その他	奄美大島でリニューアル関係資料の映像記録収集 屋久島で移動博物館用天体写真，自然環境写真資料の収集	マングロープ映像資料収集

※ 収蔵資料数

種子植物	32,338
シダ植物	6,701
コケ植物	6,884
藻類	41
植物計	45,964
哺乳類	247
鳥類	978
爬虫類	145
両生類	76
魚類	317
甲殻類	237
貝類	18,850
昆虫類	63,955
海綿・サンゴ	94
その他	28
動物計	84,927

岩石・鉱物	2,011
化石	2,054
テフラ	229
地学計	4,294
一次資料合計	135,185

図書・文献	19,109
写真	2,348
模型	282
その他	73
二次資料合計	21,812

総資料数 156,997

※ 展示資料数

(平成30年3月31日現在)

	標 本			二 次 資 料		展示資料計
	植 物	動 物	岩石・化石	模型・レプリカ	写 真	
本 館	161	3,114	350	173	479	4,277
宝山ホール(化石展示室等)	0	0	737	3	9	749
計	161	3,114	1,087	176	488	5,026

※ 魚, 両生・爬虫類等の生体展示 約125点

※ 模型数にはジオラマ内の植物を含む

(2) 調 査 研 究

ア 自然に関する調査研究

鹿児島県内の自然および収蔵資料について調査・研究し、得られた成果を展示活動や学校教育等に活用する。また、県内外の研究機関や博物館等へ、本県の自然に関する情報を提供するとともに、自然の大切さを広く県民に啓発する。

・事業内容

県内各地で自然に関する調査研究を行う。

(過去の実績及び今後の調査研究計画)

	28年度	29年度
主な調査地域と内容	<ul style="list-style-type: none"> <口永良部島> ・淡水魚分布調査 ・昆虫相及び火砕流地帯のアリ相調査 ・向江浜の火砕流被害状況調査 ・植物相調査 <屋久島> ・植物相調査 ・クワイバカンアオイの種子島個体群との生育環境比較調査 <口之島> ・植物相調査 ・他地域の個体群とトカラカンアオイの比較調査 ・タモトユリ自生地の状況調査 <伊佐> ・ベッコウサンショウウオの生態調査 <甌島> ・植物相調査 ・絶滅危惧種サツマチドリの自生地の状況調査 <種子島> ・植物相調査 ・ムラクモアオイを他地域の個体群と比較調査 <県本土> ・南薩のクロボシセセリ, オキナワスジボタル等調査 	<ul style="list-style-type: none"> <口永良部島> ・昆虫相調査 ・火砕流地帯のアリ調査 <種子島> ・水生動物分布調査 ・イタチ調査 <小宝島> ・ヒメシルビアシジミの分布調査 ・チョウ, ハチ, 甲虫などの分布調査 <悪石島> ・仮面神ボゼに使用されている植物を調査 <県本土> ・カスミサンショウウオの分布調査 ・ベッコウサンショウウオの生態調査 ・吹上浜のアカウミガメの産卵状況調査 ・指宿市のオキナワキノボリトカゲ分布調査 ・始良市別府川の淡水魚調査 ・南さつま市でトビハゼの分布調査 ・木場岳でキリシマミドリシジミ越冬卵調査 ・鹿児島本港区のハイイログケグモ分布調査 ・新島(鹿児島湾)の昆虫相調査 ・ヒルギ類生息地の調査 ・磯間岳の岩場でヒナラン等の希少種調査 ・栗野岳で菌従属植物探索, 希少種植物の現状調査 ・甫与志岳, 金弦の森で希少種植物の調査 ・稲尾岳で希少種植物の調査 ・新島の燃島貝層の露頭調査

イ 博物館活動推進に係る調査

- (ア) 鹿児島県を代表する自然史博物館として、県民へ情報提供し、博物館活動を活性化するために、他の先進博物館の展示内容、展示手法および資料の整理・収蔵方法、博物館運営等について、生きた情報を収集して国内外の博物館活動の動向を探り、博物館活動振興整備に関する調査を行う。
- (イ) 県内博物館等の実態および県内博物館活動に対する期待や学校教育における博物館の活用状況を把握し、展示活動や教育普及活動の充実・活性化を図る。

ウ 調査・研究報告書の刊行

鹿児島島の自然に対する理解を深める参考資料に資するため、鹿児島県立博物館研究報告を作成し、県内外の博物館や研究機関および県内の各学校等教育機関に配布する。



調査・研究

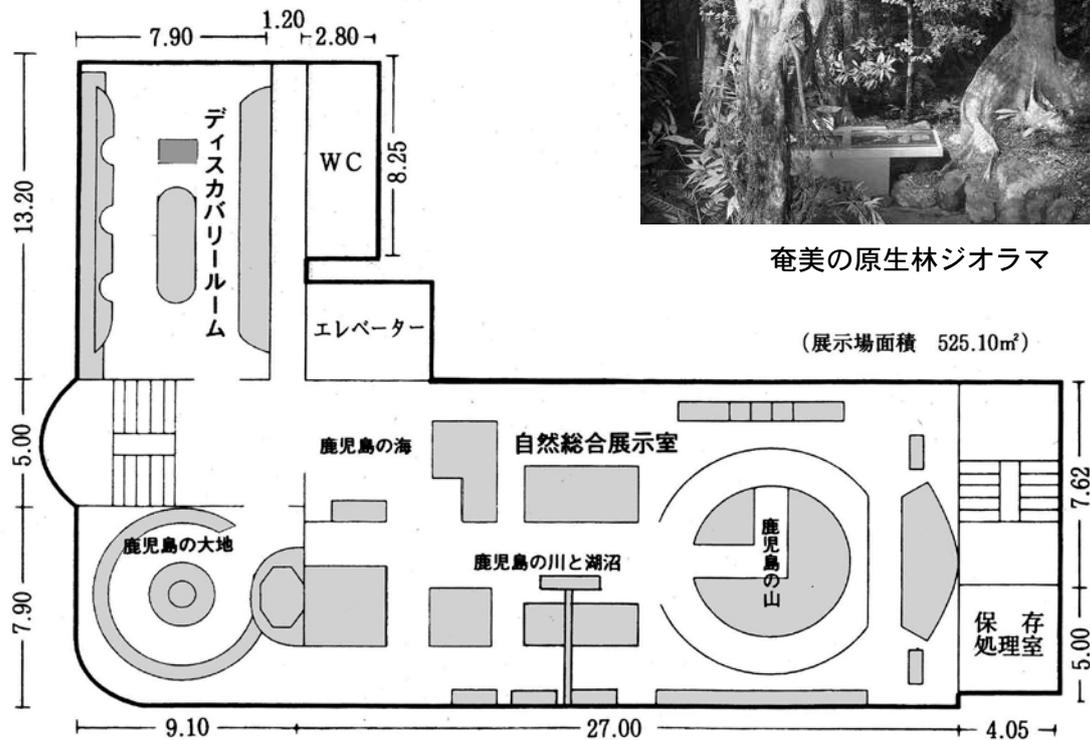


博物館教養講座

(3) 展示活動

ア 常設展示

(ア) 本館2階



奄美の原生林ジオラマ

(展示場面積 525.10m²)

《自然総合展示室A》 テーマ「鹿児島の自然」

〈鹿児島の海〉

- 黒潮に生きる
 - ・バショウカジキ, キハダマグロ等の剥製
- 海のオアシスーサンゴ礁ー
 - ・サンゴ礁ジオラマ
 - ・映像「サンゴ礁の海中散歩」
- 黒潮洗う岩礁海岸
 - ・潮間帯のジオラマ

〈鹿児島の川と湖沼〉

- マングローブの生きものたち
 - ・マングローブ林のジオラマ
 - ・メヒルギ, オヒルギ, リュウキュウアユ, オキナワアナジャコ等
 - ・映像「行ってみようマングローブの林へ」
- 川内川の生態系
 - ・川内川の植物・昆虫, 鳥類
 - ・映像「川内川を下ってみると」

○渚でのドラマ

- ・アカウミガメの産卵, 砂の拡大観察装置
- ・ハマボウフウ, コウボウムギの地下茎
- ・鹿児島の地質と砂浜
- ・砂浜は今

○鹿児島の海

- ・モダマ, ココヤシ, ルリガイ, 海藻
- ・岩礁の貝, 砂浜の貝

○蘭牟田池の生物

- ・蘭牟田池の植生分布, 貴重な昆虫, 泥炭

○水辺の環境の変化

- ・絶滅の恐れのある動植物, 帰化生物
- ・身近な環境調査

○人と自然の調和

- ・水田の生きものたち
- 植物, 昆虫, 貝, 土壌動物, 鳥類

○宇治群島・草垣群島の自然

- 日本最大のツル越冬地「出水」

〈鹿児島県の山〉

- 東洋のガラパゴスー奄美大島ー
 - ・原生林ジオラマ
 - ・オキナワウラジロガシの森
 - ・アマミノクロウサギ，ルリカケス等天然記念物や希少な野生生物
 - ・映像「原生林の一日」
- 生きものたちの境界線ートカラ列島ー
 - ・渡瀬線と動物分布
 - ・琉球列島の成り立ち
 - ・アカヒゲ，トカラハブ，昆虫類

〈鹿児島県の大地〉

- 動く大地
 - ・震源の分布パネル
- 大地の始まり
 - ・アンモナイト化石等
- 山をつくるマグマ
 - ・花こう岩やグリーンタフ等
- 広がるサンゴ海
 - ・サンゴ石灰岩や星砂
- 沈む大地
 - ・地溝の形成史とシナサイ化石

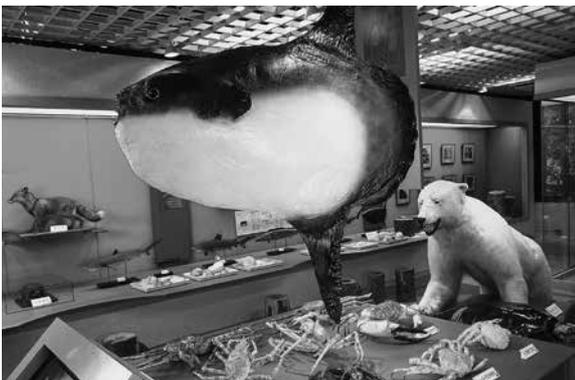
《ディスカバリールーム》

- 石は語る
 - ・鹿児島県の岩石
 - ・示準化石と示相化石
- 虫たちの世界
 - ・さまざまな昆虫
 - ・虫たちの知恵
- たねのふしぎ
 - ・種子の広がり方
- 木の香り体験
- まちの自然
 - ・身近な虫
- 里山の自然
 - ・けものたち
 - ・木片を削ってかいてみましょう

- 洋上のアルプスー屋久島ー
 - ・小花之江河のジオラマ，屋久杉
 - ・ヤクザル，ヤクシマウメバチソウ等
- 四季を織りなす活火山ー霧島ー
 - ・キュウシュウジカ，鳥類，南限のチョウ
- 詳しい説明の展示
 - ・動物の地理的異変，亜種間比較
 - ・昆虫，鳥類，アマミノクロウサギ等

- 巨大カルデラの時代
 - ・火砕流堆積物や炭化木
- 桜島火山の歴史
 - ・地形模型や溶岩
- 大型映像「鹿児島県のタイムトラベルー1億年の旅ー」
- スレッド・レース・スコリア
- 偏光顕微鏡による岩石薄片の観察

- ・ドングリであそぼう
- 水辺の自然
 - ・貝標本
 - ・貝あわせ
 - ・イワシクジラの骨
- のぞいてみようミクロの世界
 - ・昆虫の複眼
 - ・ミジンコ
- 本物にちょっとだけふれよう
 - ・世界のカニ，マンボウ，ウミガメ，シロクマ，オオカミ，オオヤマネコ
- 野鳥の鳴き声を聞こう
- 鹿児島県の国指定天然記念物
- 奄美の自然（映像）

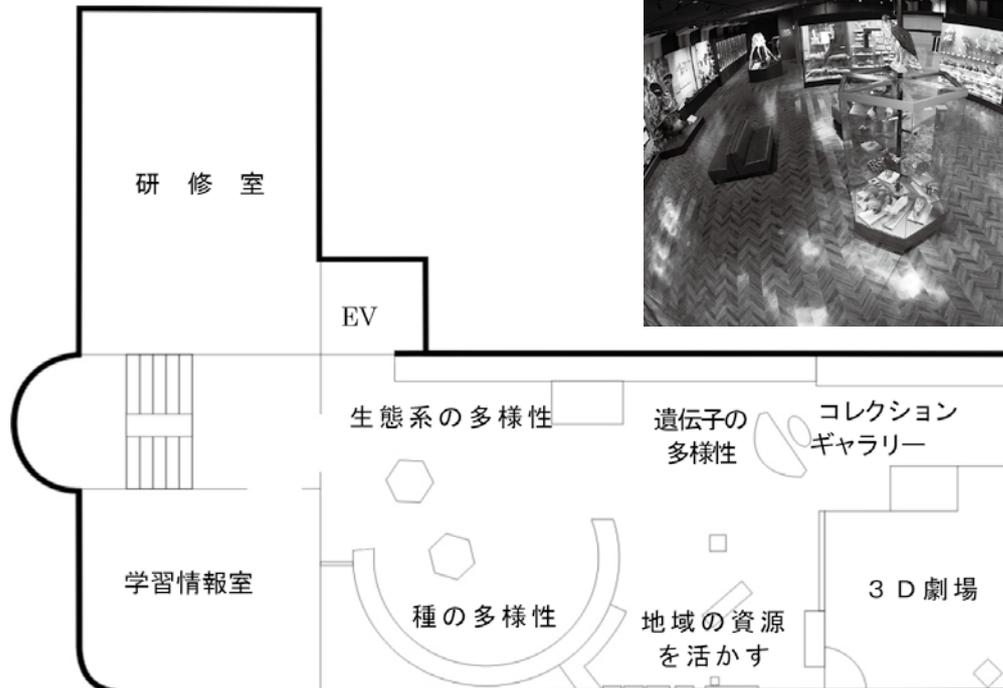


ディスカバリールーム



屋久島・小花之江河のジオラマ

(イ) 本館3館



《自然総合展示室B》 テーマ「鹿児島の人々と自然のつきあい方」

- メッセージの島
 - ・外来種の脅威
 - ・頂点捕食者クマタカ
- 生態系の多様性
 - ・鹿児島の生態系の多様性
 - ・風習と植物の利用
 - ・植物と暮らしの文化
- 種の多様性
 - ・鹿児島の種の多様性
 - ・わたしを探して
 - ・鳥の形と機能
- 遺伝子の多様性
 - ・ニワトリの多様性
- 地域の資源を活かす
 - ・自然と共生する生活と観光
 - ・鹿児島の地層
 - ・鹿児島の化石
- コレクション・ギャラリー
 - ・ウシウマの骨格標本
 - ・キリンの骨格標本

〈3D劇場〉 上映開始時刻 10:00, 11:00, 13:30, 14:30, 15:30 (約7分間)
昆虫の立体映像 (とび出す映像) を毎日5回上映する。

〈楽しい実験〉 実験開始時刻 11:15, 14:45, 15:45
見学者も楽しく参加できる実験を、毎週土曜日、日曜日に3回ずつ実施する。

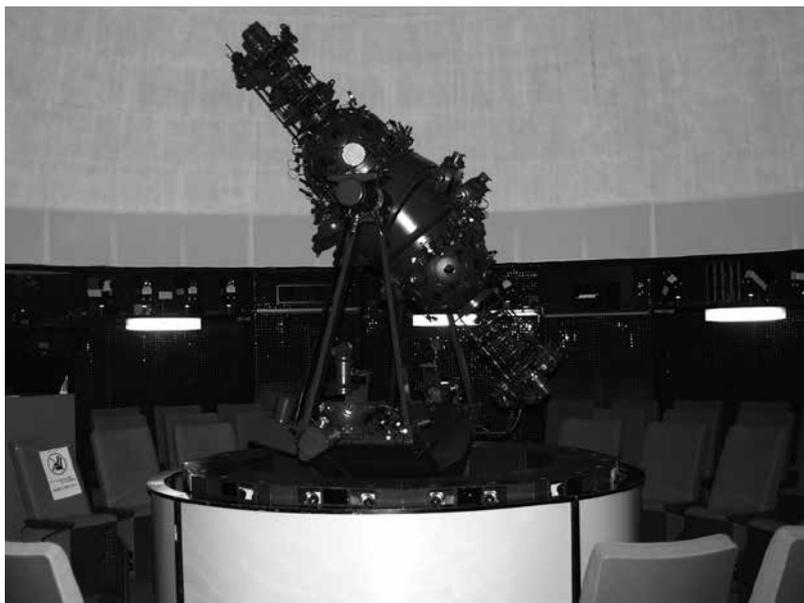
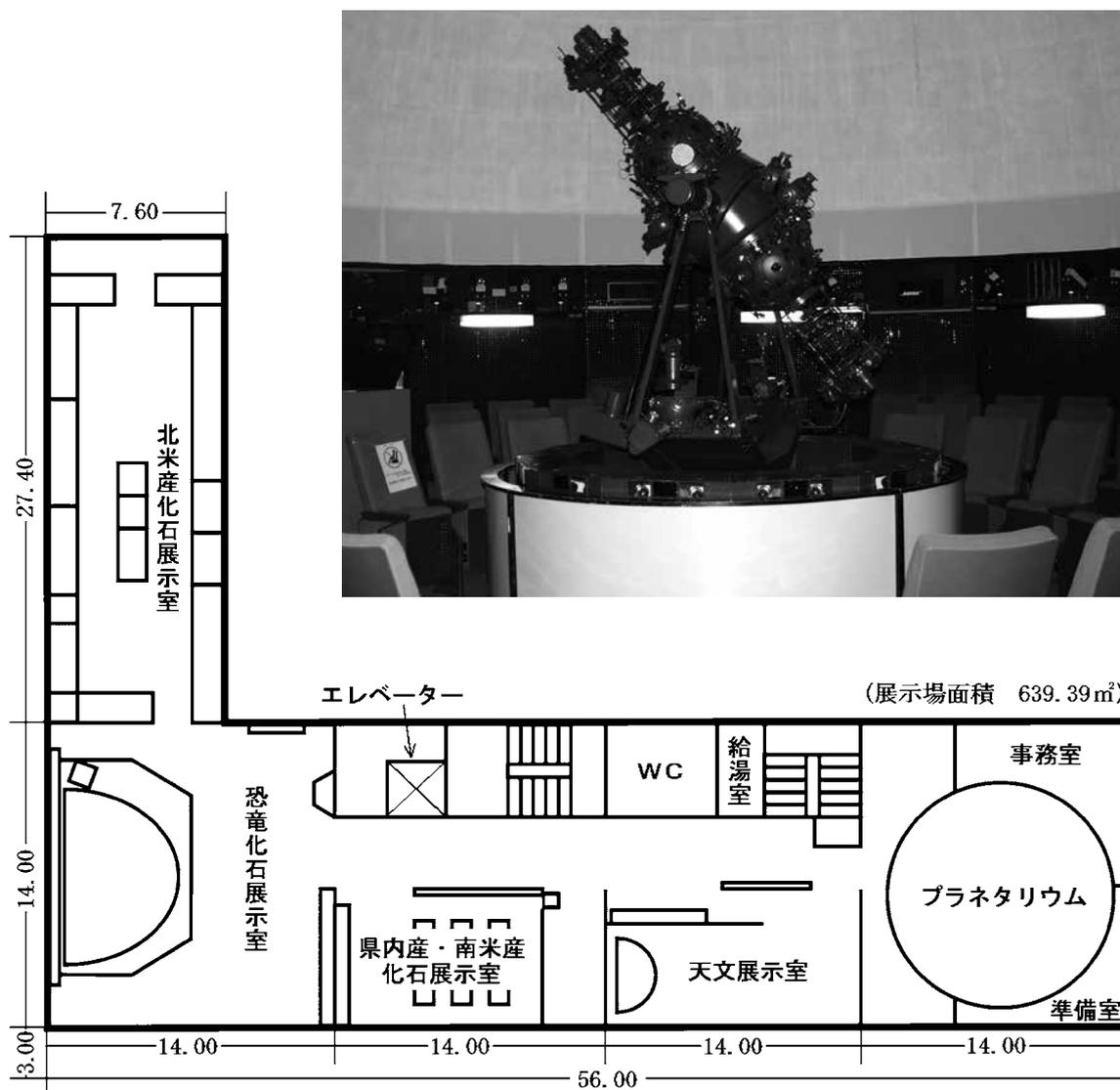


鹿児島の地層、化石



種の多様性

(ウ) 別館 宝山ホール（県文化センター）4階



《プラネタリウム》

○一般投影

- ・四季の星空案内
- ・投影時間 (30分) 11:00, 13:30, 15:00

○学習投影「プラネタリウム天文教室」

- ・幼児投影
- ・月と星 (小学生用)
- ・地球と太陽系 (中学生用)

《設備》

- ・直径 10m, 水平ドーム型, 座席数 85
自動式プラネタリウム (GX-10AT型)

《天文展示室》

- ・デジタル四次元地球儀 (ダジック・アース),
大型月球儀など

《県内産・南米産化石展示室》

- ・県内産の貝や植物化石139点を展示
- ・小牧勇藏氏から寄贈された三葉虫類, 腕足類,
ウミユリ類等221点を展示

《恐竜化石展示室》

- ・小川勇吉氏から寄贈された北米ユタ州産の恐竜
化石アロサウルスとカンプトサウルス, 八島太
郎画伯の背景画とともに展示

《北米産化石展示室》

- ・小川勇吉氏から寄贈された三葉虫類, ウミユリ,
アンモナイト, 腕足類, 魚類, カメ類, 鳥の足
跡など430点余りを展示

イ 企画展示等

鹿児島を中心とした自然に関して、博物館のこれまでの収蔵資料や調査研究の成果、児童生徒の自然に関する作品や研究記録等を活用して、時機を得た内容に基づいて展示を行う。

テ ー マ	開催期間	内 容
マングローブとゆかいな生きもの	3/24(土) ～ 6/10(日)	鹿児島県を分布の北限とするマングローブは、豊かな陸の養分がもとになり、潮の干満によってできる湿地に見られる森です。そこは植物、カニや貝などの底生動物、それらをえさとする魚や鳥など生物多様性にあふれる空間です。マングローブの豊かな自然を紹介します。
チャレンジ理科研究	7/1(日) ～ 9/2(日)	自由研究のやり方やまとめ方、貝や昆虫・植物や岩石の標本を作るポイントは？。平成29年度の児童・生徒の優れた理科研究記録や標本を展示して、研究の進め方や標本の作り方を紹介します。
毒あります	7/7(土) ～ 9/9(日)	私たちの身の回りにも、数多くの有毒生物がいます。県内で見られる様々な有毒生物を展示して、生物毒のはたらきや毒を持つ理由について解説します。
理科に関する研究記録	9/23(日) ～ 10/8(月)	平成30年度「理科に関する研究記録展」に出品された優秀作品のすべてを展示します。
<蔵出し博物館> 奄美大島・徳之島の自然	9/29(土) ～ 11/25(日)	世界自然遺産登録を目指している奄美大島・徳之島。国立公園になり、これから島の内外から熱い視線を集める、この地域に関する博物館の宝を一堂に展示します。
子供たちにも伝えたい生物多様性	12/22(土) ～ 2/24(日)	鹿児島県は世界に誇る生物多様性と環境文化にあふれています。かけがいのない鹿児島の宝を将来世代につなげるために、「生物多様性とはどんなこと」について3階の展示物とあわせて紹介します。
輝く石の世界	3/23(土) ～ 6/9(日)	世界トップレベルの品質を誇る金鉱石や鹿児島で発見された新鉱物など、鹿児島県を代表する岩石・鉱石・鉱物の標本を中心に、石の世界の魅力を紹介します。

ウ 移動展示 学ぼう郷土の自然「博物館がやってきた！」実施事業

自然・環境保護が世界的な課題となっている中、郷土の自然を見つめ、科学する心を育み、自然と共生する心を培うため、親子自然観察会及び環境調査等の体験活動並びに自然・環境に関する講演会などを住民参加型で行うとともに、鹿児島の自然や地域の自然等を紹介する展示活動を実施する。

〈開催地〉

第1回 11月1日(木) 出水養護学校

第2回 12月6日(木)～12月9日(日) 瀬戸内町

〈事業内容〉

① 展示活動

- ・郷土の自然パネル・実物展示（実施地域関係）
- ・県立博物館の所有する植物、動物、化石・鉱物等の標本、パネル等の展示
「鹿児島と世界の昆虫」「鹿児島の天然記念物」「日本とフィリピンの貝」「化石」等
- ・県内児童・生徒の理科優秀作品および地域児童・生徒の理科作品の展示

② 自然体験活動

- ・楽しい実験 ・星空観察会

③ 学校との連携（「総合的な学習の時間」等への支援）

- ・地域の自然紹介授業など

(4) 教育普及活動

ア 博物館科学教室

- ・毎月原則第1・3日曜日、夏休み期間などに実施される。
- ・事前に電話での申し込みが必要。原則として小学生以下は保護者同伴。

期 日	テ ー マ	定 員	時 間	場 所	費 用
4月8日(日)	春の植物観察と植物採集	40人	10:00~12:00	青少年研修センター	50円
4月15日(日)	城山で春を探そう	30人	10:00~12:00	鹿児島市城山	50円
5月13日(日)	街かど化石探険隊!	30人	10:00~12:00	博物館周辺	50円
5月20日(日)	博物館バックヤードツアー	各10人	10:00,11:00 14:00,15:00	博物館本館	—
5月27日(日)	フグの産卵を見よう	30人	17:00~19:00	阿久根市脇本大瀬	50円
6月3日(日)	じゃぶじゃぶ池の動物ウォッチング	30人	10:00~12:00	始良市サポーランド	50円
6月17日(日)	自由研究をはじめよう!	各30人	10:00~12:00 14:00~16:00	本館3階研修室	—
7月7日(土)	採集・標本の作り方(植物)	40人	9:00~12:00	青少年研修センター	50円
7月14日(土)	採集・標本の作り方(植物)	40人	10:00~16:00	青少年研修センター	50円
7月14日(土)	灯火に集まる虫を調べよう	30人	19:00~21:00	鹿児島市寺山	50円
7月15日(日)	採集・標本の作り方(貝)	40人	10:00~12:00	本館3階研修室	50円
7月16日(月)	採集・標本の作り方(岩石)	各30人	10:00~12:00 14:00~16:00	本館3階研修室	50円
7月16日(月)	採集・標本の作り方(昆虫)	40人	10:00~16:00	青少年研修センター	50円
7月20日(金)	セミの羽化をみよう!	40人	20:00~21:00	博物館周辺	50円
7月21日(土)	自由研究を始めよう!	各30人	10:00~12:00 14:00~16:00	別館4階	50円
7月21日(土)	セミの羽化をみよう!	40人	20:00~21:00	博物館周辺	50円
7月27日(金)	セミの羽化をみよう!	100人	20:00~21:00	鹿児島大学郡元	50円
7月28日(土)	セミの羽化をみよう!	40人	20:00~21:00	博物館周辺	50円
8月5日(日)	魚とり名人になろう	各30人	10:00~12:00 14:00~16:00	犬迫川	50円
8月9日(木)	化石発掘体験	30人	10:00~12:00	吉田北中学校周辺	50円
8月11日(土)	スズメバチの巣解体ショー	各30人	10:00~12:00 14:00~16:00	本館3階研修室	—
8月25日(土)	標本名付け教室 貝・昆虫・植物・岩石	予約制	10:00~16:00	本館3階研修室	—
8月26日(日)	標本名付け教室 貝・昆虫・植物・岩石	予約制	10:00~16:00	本館3階研修室	—
8月28日(火)	標本名付け教室 貝・岩石	予約制	10:00~16:00	本館3階研修室	—
9月16日(日)	化石レプリカを作ろう	30人	14:00~16:00	本館3階研修室	100円
10月20日(土)	縄文の森のどんぐりを楽しもう	20人	10:00~12:00	上野原縄文の森	—
11月3日(土)	秋の霧島ハイキング	30人	10:00~12:00	霧島市えびの高原	50円
11月18日(日)	アサギマダラ大作戦	40人	10:00~12:00	開聞岳	50円
11月25日(日)	ミニクリスマスツリーを作ろう	30人	14:00~16:00	本館3階研修室	200円
12月2日(日)	木の実でクリスマスリースを作ろう	30人	14:00~16:00	本館3階研修室	300円
1月20日(日)	磨いて作る宝の石	30人	14:00~16:00	本館3階研修室	50円
2月3日(日)	紫キャベツのカラフル実験	30人	14:00~16:00	本館3階研修室	100円
2月17日(日)	煮干しの解剖	24人	10:00~12:00	本館3階学習情報室	—
3月10日(日)	街かど化石探険隊	30人	10:00~12:00	博物館周辺	50円
3月24日(日)	古道でお花見トレッキング	30人	9:00~12:00	始良市白銀坂	50円

イ 楽しい実験

- ・誰もが楽しく参加できる簡単な実験を行う。
- ・毎週土・日曜日に1日3回(11:15~, 14:45~, 15:45~)約20分間

開催月	テ ー マ	開催月	テ ー マ
4月	シロアリとあそぼう	10月	星砂をさがそう
5月	竹笛に挑戦	11月	とべ!ユビコプター
6月	迷路に挑戦ダンゴムシ	12月	まわれ, 独楽・こま・コマ
7月	カブトムシの力だめし	1月	空気砲で的をたおそう
8月	スズメバチをさわろう	2月	ジュズダマでかざりをつくろう
9月	金魚せんすいかん発進	3月	砂鉄であそぼう!

ウ 博物館天文教室

- ・プラネタリウム投影と「天体解説」「天文工作」などを行う。
- ・宝山ホール（県文化センター）4階プラネタリウム室
- ・原則第2・4日曜日（10:30～11:30, 14:30～15:30）

※ 平成30年4月は休館中のためなし。

期 日	内 容
4月	実施しません
5月13日, 27日	日時計で太陽の動きを調べよう
6月10日, 24日	自然界にあるグライダーを作ろう
7月8日, 22日	風船模型で火星の様子を調べよう
8月12日, 26日	日光写真で太陽の光を調べよう
9月16日, 23日	スペクトルスコープで太陽の光を分析しよう
10月14日, 28日	ガラス絵の具で星を描こう
11月11日, 25日	星座早見で星を調べよう
12月9日, 23日	よく飛ぶ「たこ」を作ろう
1月13日, 27日	光る誕生星座飾りを作ろう
2月10日, 24日	惑星モービルで星の大きさを比べよう
3月10日, 24日	星を調べて自分だけの星を作ろう

エ 博物館教養講座（初任者課題研修）「楽しい自然観察入門」

学校や地域で、子どもたちが自然と触れ合ったり自然に親しんだりする活動を支援する先生方に、実習等をとおして自然観察の知識や技能を高め、観察等の指導力向上を図る。

- ・期 日 平成30年8月7日（火）～8日（水） 2日間
- ・場 所 県立博物館、霧島山とその周辺
- ・対象及び募集人員

教職員、博物館等職員、青少年育成活動の指導者等：30人

教職員の初任者（中・高校の場合は理科担当者が望ましい）：10人 計40人

- ・講座内容

授業に生かせる昆虫テクニック、水生動物の飼育・観察、プラネタリウム及びデジタルコンテンツ（天文分野）の活用、霧島山周辺の地形・地質と植性の観察（野外活動）など

オ パワーアップ研修「自然観察実践講座」（10年経験者研修）

児童・生徒が知的好奇心や探究心をもって自然に親しみ、科学的な見方や考え方を養うことができるようにするために、自然観察の基本的な技術とその指導法を身につけた指導者の育成を図る。

- ・期 日 自然観察実践講座A 平成30年7月26日（木）～27日（金）
自然観察実践講座B 平成30年8月2日（木）～3日（金）
- ・場 所 県立博物館及び城山など
- ・対 象 自然観察実践講座A：小学校・特別支援学校教職員（10人）
自然観察実践講座B：中学校・高等学校教職員（10人）

- ・内 容 身近な自然を活用しながら、フィールドワーク等の実習を通して、理科や総合的な学習の時間等で活用できる植物、動物、地質、天文等の観察調査の方法及び自然観察の指導法を学ぶ。

カ フィールドワーカー養成講座

植物、動物、昆虫、地質、天文の分野別に資料収集や調査研究などのフィールドワークを計画的に且つ継続的に行うことにより、専門的かつ授業に活かせる知識や技能を養成する。また、参加者が学校や地域で中核的存在として活躍することにより、自然に関する情報ネットワーク作りを推進する。

- ・期 間 平成30年4月28日（土）～
- ・会 場 県内各地
- ・対 象 小・中学校及び高等学校等の職員、各分野10人程度
- ・内 容 各分野で設定

キ 標本資料等の貸出し

学校等への標本、写真、教材キット「ディスカバリーBOX」等の貸出しを行う。

ク 教育支援活動（教育機関、市町村教育委員会、学校等）

学校および社会教育機関等が実施する教育活動において、博物館が持つ機能を活用して、自然科学に関する最新情報の提供や児童・生徒・教職員等への講話・研修を行い、自然に親しみ、自然への興味関心を持たせることを目指す。

- (ア) 自然紹介授業・総合的な学習の時間の支援
- (イ) 職場体験学習・インターンシップの受け入れ
- (ウ) 学校・児童クラブ等での出前科学教室の実施
- (エ) 公民館や市町村教育委員会が実施する各種講座・星空観察会・標本名付会等への講師派遣

ケ 広報活動の推進

「月行事案内」「鹿博だより」「夢とロマンの星空散歩」「鹿児島の自然だより」を発行する。

コ 博物館学習情報室の活用

生涯学習の場として学習情報室を開設し、自然科学に関する情報を提供する。また、動植物および岩石の名付け、飼育・栽培方法など自然科学に関する諸質問に答えるとともに自然観察・研究の助言等を行う。

サ ボランティア支援活動

(ア) 中・高校生ボランティアの会

中学生・高校生が博物館資料の整理や展示活動、教育普及活動等の博物館の活動に携わることにより郷土の豊かな自然への理解を深めるとともに、相互に触れ合いながら社会貢献を実践することで、社会の一員としての自覚を深める。

- ・活動日 定例会：5月19日（土）、8月4日（土）、10月7日（日）、12月15日（土）、3月2日（土）の14:00～16:00

随時活動:会員の都合のよい日、及び博物館が特に要請する日

- ・対象 鹿児島県内に在住する中学生・高校生
- ・活動内容 教育普及活動の補助、展示物（展示模型や展示パネル等）の製作、資料の整理・標本作製及びその収蔵に係わる業務等
ボランティアの企画・運営による解説（10月7日）

(イ) 博物館ボランティアの会

ボランティアの会会員が資料整理活動や教育普及活動等の博物館活動に携わることにより博物館の機能が最大限に発揮できるよう協力するとともに、自然観察会等を通じて研修を行うなど自然科学への興味関心の高揚を図る。

シ 博物館まつり

博物館が行っている科学教室や楽しい実験などを実施し、自然科学の楽しさを体験することとおして、博物館の活動をより多くの県民に広く知っていただく機会とする。

- ・期日 平成30年5月20日（日）
- ・会場 博物館本館、別館など
- ・内容 科学教室、天文教室、楽しい実験、ふれあいコーナー等

7 平成30年度 年間行事予定表

日曜	4月行事	日曜	5月行事	日曜	6月行事	日曜	7月行事
1日	新任式 辞令交付式 企画運営会議 楽しい実験	1火	臨時開館	1金		1日	楽しい実験 企画展「チャレンジ理科研究」開始
2月	休館日	2水		2土	楽しい実験	2月	休館日
3火	*特別整理休館日 全職員会議	3木	(祝) 憲法記念日 (特) 楽しい実験 砂の祭典	3日	楽しい実験 科学教室「じゃぶじゃぶ池」	3火	*
4水		4金	(祝) みどりの日 (特) 楽しい実験 砂の祭典	4月	休館日	4水	
5木		5土	(祝) こどもの日 楽しい実験 砂の祭典	5火	* プラネ夏編開始	5木	
6金		6日	楽しい実験 砂の祭典	6水		6金	
7土	楽しい実験	7月	休館日 桜島・錦江湾ゾウパーク推進協議会	7木		7土	楽しい実験 企画展「毒あります」開始 科学教室「標本作り(植物)」
8日	楽しい実験 科学教室「春の植物観察と植物採集」	8火	*	8金		8日	楽しい実験 天文教室
9月	休館日	9水	河頭中職場体験～11	9土	楽しい実験(第2土曜)	9月	休館日
10火	出先機関の長及び教育機関の長等会議	10木	九博協	10日	楽しい実験 天文教室 企画展「マンガグループ」終了 純短鹿児島学講座	10火	
11水	第1回指導主事等会議	11金	九博協	11月	休館日	11水	
12木		12土	楽しい実験(第2土曜)	12火	特別整理休館日	12木	
13金	出先機関及び教育機関総務課長等会議	13日	楽しい実験 天文教室 科学教室「化石探検隊」	13水		13金	
14土	楽しい実験(第2土曜)	14月	休館日	14木		14土	楽しい実験(第2土曜) 科学教室「標本作り(植物)」 科学教室「灯火に集まる虫」
15日	楽しい実験 科学教室「城山で春を探そう」	15火	東谷山中職場体験～17 吉野中職場体験～17	15金		15日	楽しい実験 科学教室「標本作り(貝)」
16月	休館日	16水	伊敷台中職場体験～18 長田中職場体験～18	16土	楽しい実験	16月	(祝) 海の日 科学教室「標本の作り(昆虫)」 科学教室「標本作り(岩石)」
17火	*	17木		17日	楽しい実験 科学教室「自由研究をはじめよう」	17火	休館日
18水		18金		18月	休館日	18水	*
19木		19土	楽しい実験 中高生ボランティア定例会	19火	*	19木	
20金	錦江湾高校洋上研修講師派遣	20日	博物館まつり	20水		20金	科学教室「セミの羽化」
21土	楽しい実験	21月	休館日	21木		21土	楽しい実験 科学の祭典 科学教室「自由研究」 科学教室「セミの羽化」
22日	楽しい実験	22火	*	22金		22日	楽しい実験 天文教室 科学の祭典
23月	休館日	23水		23土	楽しい実験	23月	休館日
24火	3階展示室報道事前案内	24木		24日	楽しい実験 天文教室	24火	
25水	*整理点検日 指宿公民館講座	25金	整理点検日 (明治150周年記念式典～26)	25月	休館日	25水	
26木		26土	楽しい実験	26火	整理点検日	26木	パワーアップ研修(小・特)～7/27
27金	3階展示室オープン プラネ春編開始	27日	楽しい実験 天文教室 科学教室「フグの産卵」プラネ春編終了	27水		27金	科学教室「セミの羽化」
28土	楽しい実験 フィールドワーカー講座開講	28月	休館日	28木		28土	楽しい実験 伊敷公民館講座 科学教室「セミの羽化」
29日	(祝) 昭和の日 楽しい実験	29火		29金		29日	楽しい実験
30月	振替休日 (特) 楽しい実験	30水		30土	楽しい実験	30月	休館日
/		31木		/		31火	*
楽しい実験(シロアリとあそぼう)		楽しい実験(竹笛に挑戦) 天文教室(日時計)		楽しい実験(迷路に挑戦ダンゴムシ) 天文教室(グライダーを作ろう)		楽しい実験(カブトムシの力だめし) 天文教室(火星の風船模型)	

日	曜	8月行事	日	曜	9月行事	日	曜	10月行事	日	曜	11月行事
1	水	[出校日]	1	土	楽しい実験	1	月	休館日	1	木	移動博(出水養護)文化財保護強調週間～7日
2	木	パワーアップ研修(中・高)～8/3	2	日	楽しい実験 企画展「理科研究」終了 プラネ夏編終了	2	火		2	金	移動博片付け
3	金		3	月	休館日	3	水		3	土	(祝)文化の日 楽しい実験 科学教室「霧島ハイキング」
4	土	楽しい実験 中高生ボランティア定例会	4	火		4	木		4	日	楽しい実験
5	日	楽しい実験 科学教室「魚とり名人」	5	水		5	金		5	月	休館日
6	月	休館日	6	木		6	土	楽しい実験	6	火	*
7	火	教養講座～8/8	7	金	博物館実習終了	7	日	楽しい実験 中高生ボランティア定例会(乗っ取り)	7	水	
8	水		8	土	楽しい実験 [第2土曜] プラネタリウム点検	8	月	(祝)体育の日 企画展「理科研究記録」終了	8	木	
9	木	科学教室「化石発掘体験」	9	日	楽しい実験 企画展「毒ありません」終了 プラネタリウム点検	9	火	休館日	9	金	
10	金	霧島市教育委員会「自由研究を始めよう」	10	月	*特別整理休館日	10	水	*特別整理休館日	10	土	楽しい実験 [第2土曜] 上野原縄文の森星空観望会
11	土	(祝)山の日 楽しい実験 科学教室「スズメバチの巣」	11	火	休館日 館内燻蒸	11	木		11	日	楽しい実験 天文教室
12	日	楽しい実験 天文教室	12	水	プラネ秋編開始	12	金		12	月	休館日
13	月	臨時開館 開館時間延長	13	木		13	土	楽しい実験(第2土曜)	13	火	
14	火	* 開館時間延長	14	金		14	日	楽しい実験 天文教室	14	水	
15	水	開館時間延長	15	土	楽しい実験	15	月	休館日	15	木	
16	木		16	日	楽しい実験 科学教室「化石レプリカ」 天文教室	16	火		16	金	
17	金		17	月	(祝)敬老の日	17	水		17	土	楽しい実験
18	土	楽しい実験	18	火	休館日	18	木		18	日	楽しい実験 科学教室「アサギマダラ」
19	日	楽しい実験	19	水		19	金		19	月	休館日
20	月	休館日	20	木		20	土	楽しい実験 科学教室「縄文の森」	20	火	*
21	火		21	金	(祝)秋分の日	21	日	楽しい実験	21	水	
22	水		22	土	楽しい実験 理科研究記録審査会	22	月	休館日	22	木	
23	木	教員免許更新(天文) 大隅少年自然の家	23	日	(祝)秋分の日 楽しい実験 天文教室 企画展「理科研究記録」展開始	23	火	*	23	金	(祝)勤労感謝の日
24	金		24	月	振替休日	24	水		24	土	楽しい実験
25	土	楽しい実験 科学教室「標本名付け」	25	火	休館日	25	木	整理点検日	25	日	楽しい実験 天文教室 蔵出し終了 プラネ秋編終了 科学教室「ミカドクワ」
26	日	楽しい実験 天文教室 科学教室「標本名付け」	26	水	*整理点検日	26	金		26	月	休館日
27	月	休館日	27	木		27	土	楽しい実験	27	火	整理点検日
28	火	科学教室「標本名付け(岩石・貝)」	28	金		28	日	楽しい実験 天文教室	28	水	
29	水		29	土	楽しい実験 蔵出博物館「奄美徳之島」開始	29	月	休館日	29	木	
30	木	博物館実習～9/7	30	日	楽しい実験	30	火		30	金	
31	金		/			31	水	移動博準備	/		
楽しい実験(スズメバチをさわろう) 天文教室(日光写真)			楽しい実験(金魚せんすいかん発進) 天文教室(スペクトルスコop)			楽しい実験(星砂をさがそう) 天文教室(ガラス絵の具)			楽しい実験(とべ!ユビコプター) 天文教室(星座早見)		

日曜	12月行事	日曜	1月行事	日曜	2月行事	日曜	3月行事
1 土	楽しい実験	1 火	(祝)元日 年始休館	1 金		1 金	プラネタリウム点検
2 日	楽しい実験 科学教室「木の実でクリスマスリース」	2 水	臨時開館	2 土	楽しい実験 博友会	2 土	楽しい実験 中高生ボランティア定例会
3 月	休館日	3 木	臨時開館	3 日	楽しい実験 科学教室「紫キャベツ」	3 日	楽しい実験
4 火	*	4 金	*仕事始め	4 月	休館日	4 月	休館日
5 水	プラネ冬編開始	5 土	楽しい実験	5 火		5 火	
6 木	移動博(瀬戸内町) 12/6~9日	6 日	楽しい実験	6 水		6 水	プラネ春編開始
7 金		7 月	休館日	7 木		7 木	
8 土	楽しい実験(第2土曜)	8 火		8 金		8 金	
9 日	楽しい実験 天文教室	9 水		9 土	楽しい実験(第2土曜)	9 土	楽しい実験(第2土曜)
10 月	休館日	10 木		10 日	楽しい実験 天文教室	10 日	楽しい実験 天文教室 科学教室「街かど化石発見隊」
11 火	特別整理休館日	11 金		11 月	(祝)建国記念の日	11 月	休館日
12 水		12 土	楽しい実験(第2土曜)	12 火	休館日	12 火	*
13 木		13 日	楽しい実験 天文教室	13 水	*特別整理休館日	13 水	
14 金		14 月	(祝)成人の日	14 木		14 木	
15 土	楽しい実験 中高生ボランティア定例会	15 火	休館日	15 金		15 金	
16 日	楽しい実験	16 水	*	16 土	楽しい実験 フィールドワーカー講座報告会	16 土	楽しい実験
17 月	休館日	17 木		17 日	楽しい実験 科学教室「煮干しの解剖」	17 日	楽しい実験
18 火	*	18 金		18 月	休館日	18 月	休館日
19 水		19 土	楽しい実験	19 火		19 火	
20 木		20 日	楽しい実験 科学教室「磨いて作る宝の石」	20 水		20 水	
21 金		21 月	休館日	21 木		21 木	(祝)春分の日
22 土	楽しい実験 企画展「生物多様性」開始	22 火		22 金		22 金	
23 日	(祝)天皇誕生日 楽しい実験 天文教室	23 水		23 土	楽しい実験 天文教室 企画展「生物多様性」終了 プラネ冬編終了	23 土	楽しい実験 企画展「輝く石の世界」開始
24 月	振替休日	24 木		24 日		24 日	楽しい実験 天文教室 科学教室「古道でお花見」
25 火	休館日	25 金	整理点検日	25 月	休館日	25 月	休館日
26 水		26 土	楽しい実験 文化財防火デー	26 火	*整理点検日	26 火	*整理点検日
27 木		27 日	楽しい実験 天文教室	27 水		27 水	
28 金	仕事納め	28 月	休館日	28 木	プラネタリウム点検	28 木	
29 土	年末休館	29 火	*	/		29 金	
30 日	年末休館	30 水		/		30 土	楽しい実験
31 月	年末休館	31 木		/		31 日	楽しい実験
楽しい実験(まわれ、独楽・こま・コマ) 天文教室(よく飛ぶたこを作ろう)		楽しい実験(空気砲で的をたおそう) 天文教室(光る誕生星座かざり)		楽しい実験(ジュズダマでかざりをつくろう) 天文教室(惑星モビール)		楽しい実験(砂鉄であそぼう) 天文教室(星について調べよう)	

8 平成29年度 主要事業等の経緯

(1) 活動経緯

月	日	活 動 内 容	定 例 の 教 育 普 及 活 動	
			活 動 名	実 施 日
4		プラネタリウム春編上映（5/28まで） 企画展「イモムシ・ケムシどんな虫？」（6/11まで）	科学教室 天文教室 楽しい実験	9,16 9,23 2,8,9,15,16,22,23,29,30
5	3 20 21	砂の祭典（～5/7まで） フィールドワーカー養成講座（第1回） 博物館まつり	科学教室 天文教室 楽しい実験	7 14,28 6,7,13,14,20,27,28
6	6 7	プラネタリウム夏編上映（8/27まで） 移動博物館「博物館がやってきたin南薩養護学校」 （6/8まで）	科学教室 天文教室 楽しい実験	4,18 11,25 3,4,10,11,17,18,24,25
7	1 8	企画展「夏休み！チャレンジ理科研究」（8/31まで） 企画展「世界のカブトムシ・クワガタムシ」（9/10まで）	科学教室 天文教室 楽しい実験	9,15,16,17,21,22,28,29 9,23 1,2,8,9,15,16,22,23,29,30
8	3 8 18	教職員パワーアップ研修（8/4まで：博物館・城山） 博物館教養講座（8/9まで：栗野岳） フィールドワーカー養成講座(校庭の自然)	科学教室 天文教室 楽しい実験	25,26,27 13,27 5,6,12,13,19,20,26,27
9	5 6 19 24 30	館内薫蒸 プラネタリウム秋編上映（11/14まで） 「鹿博だより97」発行 企画展「理科に関する研究記録」（10/9まで） 企画展「人里の鳥獣」（11/26まで）	天文教室 楽しい実験	10,24 2,3,9,10,16,17,23,24,30
10	7 19	県立博物館協議会 移動博物館「博物館がやってきたin中種子町」（10/22まで）	科学教室 天文教室 楽しい実験	29 8,22 1,7,8,14,15,21,22,28,29
11	18 23	企画展「国際宇宙ステーションに一番近い県 鹿児島」（12/30まで） プラネタリウム冬編上映（12/30まで）	科学教室 天文教室 楽しい実験	3,18 12,26 4,5,11,12,18,19,25,26
12	23	企画展「口永良部島の自然」（2/25まで）	科学教室 天文教室 楽しい実験	3,10 10,24 2,3,9,10,16,17,23,24
1			科学教室 天文教室 楽しい実験	14,28 なし 6,7,13,14,20,21,27,28
2	17	フィールドワーカー養成講座報告会	科学教室 天文教室 楽しい実験	18,25 なし 3,4,10,11,17,18,24,25
3	24 20 30	企画展「マングローブとゆかいな生きもの」（6/10まで） 「鹿博だより98」発行 鹿児島県立博物館研究報告第36号発行	科学教室 天文教室 楽しい実験	25 なし 3,4,10,11,17,18,24,25

(2) 企画展等

72,808人

テーマ	期間	主な内容	観覧者数
イモムシ・ケムシ どんな虫？	3/25(土) ～ 6/11(日)	多くの人が「イヤ！」と思うイモムシやケムシたち。しかし「イモムシ」という虫はいません。成虫になって子どもを残すことを目的に、栄養をたっぷりとする時期、それが幼虫です。サナギを通した大変身は、きっと皆さんに大きな驚きを与えてくれるでしょう！	14,821人 [242.9]
チャレンジ理科研究	7/1(土) ～ 8/31(木)	満足できる自由研究を作り上げ、貝や昆虫・植物や岩石をきれいな標本にするポイントは？。平成28年度の児童・生徒の優れた理科研究記録や標本を展示して、研究の進め方や標本の作り方を紹介します。	6,084人 [112.7]
世界のカブトムシ・ クワガタムシ展	7/8(土) ～ 9/10(日)	大きくてかっこいいカブトムシ・クワガタムシは、夏休みの主役の一つでしょう。世界のカブトムシ・クワガタムシを紹介すると共に、鹿児島にすむさまざまなクワガタムシの秘密なども紹介します。	26,904人 [480.4]
理科に関する研究記録	9/24(日) ～ 10/9(月)	平成29年度「理科に関する研究記録展」に出品された優秀作品のすべてを展示します。	2,872人 [220.9]
<蔵出し博物館> 人里の鳥獣	9/29(金) ～ 11/26(日)	タヌキやイタチのように人里にすんでいる野生動物でも、私たちが実際に目撃する機会は決して多くはないものです。人里近くで暮らす野生動物を、県立博物館に保管されている標本を中心に展示します。	11,820人 [236.4]
国際宇宙ステーションに一番近い県 鹿児島	11/18(土) ～ 12/30(土)	国際宇宙ステーション (ISS) に物資を届ける「こうのとり」が打ち上がる鹿児島県はISSに一番近い県と言えます。「こうのとり」の打ち上げの様子やISSを見る方法などを紹介し、12月にはプラネタリウム休館イベントも行います。	1,680人 [49.4]
口永良部島の自然	12/21(木) ～ 2/25(日)	平成27年5月の噴火で全島民が避難した口永良部島。半年後に帰島できましたが、それでも噴火の危険は続いています。火山の噴火と共に生きる自然や人々。そこに見られる不思議や驚きを紹介します。	6,921人 [130.6]
マングローブとゆかいな生きもの	3/17(土) ～ 6/10(日)	鹿児島県を分布の北限とするマングローブは、豊かな陸の養分がもとになり、潮の干満によってできる湿地に見られる森です。そこは植物、ゴカイや貝などの底生動物、それらをえさとする魚や鳥など生物多様性にあふれる空間です。マングローブの豊かな自然を紹介します。	1,706人 [142.2]

[] 内は1日平均の観覧者数

(3) 資料収集・保管活動

- ・口永良部島、種子島、小宝島、悪石島、県本土
- ・登録資料数 4,684点 (植物 3,124点、昆虫 1,205点、動物 19点、地学 15点、二次資料 321点)

(4) 調査研究

ア 県立博物館研究報告第37号 (14編)

- ① 「新島 (鹿児島湾) の昆虫」
- ② 「口永良部島の昆虫 (2017年, 他)」
- ③ 「トカラ列島中之島・小宝島の昆虫 (2017年)」
- ④ 「トカラ列島のチョウ類」
- ⑤ 「喜界島における夏季のオオゴマダラ消長について」
- ⑥ 「鹿児島港本港区にてハイイログケグモを確認」
- ⑦ 「トカラ列島の口之島と宝島のバッタ, ナナフシ, ゴキブリの記録」
- ⑧ 「シベリアイタチの種子島からの記録」
- ⑨ 「口永良部島の植物」
- ⑩ 「悪石島仮面神ボゼに利用される植物」
- ⑪ 「鹿児島県で発見された鉱物」
- ⑫ 「鹿児島県屋久島の四万十累層群から生痕化石 Protovirgularia の発見」
- ⑬ 「2016年における桜島火山噴出物の大気環境影響」
- ⑭ 「プラネタリウム制御システムの変更とそれに伴う番組製作について」

イ 博物館整備新興に関わる先進博物館視察

福井市立自然史博物館，大阪市立自然史博物館，ふじのくに地球環境史ミュージアム，長瀬渓谷，栃木県立博物館，国立科学博物館，東京国立博物館（鹿博協研修：佐賀県立名護屋城博物館，佐賀県立佐賀城本丸歴史館，佐賀県立九州陶磁文化館，佐野常民記念館）

(5) 教育普及活動

ア 博物館科学教室（原則毎月第1・3日曜日）年間37回実施

(1,341人)

期 日	テ ー マ	定 員	場 所	参加者数
4月9日(日)	春の植物観察と植物採集	40人	青少年研修センター	33
4月16日(日)	植物のからだ大かいぼう	30人	本館3階研修室	17
5月7日(日)	チョウの幼虫を育てよう	20組	本館3階研修室	41
5月21日(日)	街かど岩石・化石ウォッチング	20人	博物館周辺	17
※博物館	城山植物探検隊！	20人	鹿児島市城山	13
まつり	博物館バックヤードツアー	20人	博物館本館	23
6月4日(日)	じゃぶじゃぶ池の動物ウォッチング	30人	始良市サボランド	21
6月18日(日)	自由研究をはじめよう！	各30人	別館4階	24
7月9日(日)	採集・標本の作り方(貝)	40人	本館3階研修室	35
7月15日(土)	採集・標本の作り方(植物)	40人	青少年研修センター	39
7月15日(土)	灯火に集まる虫を調べよう	30人	寺山公園	30
7月16日(日)	採集・標本の作り方(昆虫)	40人	青少年研修センター	42
7月17日(月)	採集・標本の作り方(岩石)	40人	吉田北中学校周辺	40
7月17日(月)	自由研究をはじめよう！	各30人	別館4階	45
7月22日(土)	〃	〃	〃	31
7月21日(金)	セミの羽化をみよう！	40人	博物館周辺	39
7月22日(土)	灯火に集まる虫を調べよう	30人	寺山公園	29
7月28日(金)	セミの羽化をみよう！	100人	鹿児島大学郡元	92
7月29日(土)	〃	40人	博物館周辺	39
8月6日(日)	魚とり名人になろう	30人	犬迫川	中止
8月25日(金)	標本名付け教室 貝・昆虫・植物・岩石	予約制	本館3階研修室	58
8月26日(土)	〃	〃	〃	151
8月27日(日)	〃	〃	〃	133
9月17日(日)	化石レプリカを作ろう	30人	本館3階研修室	中止
10月15日(日)	化石発掘体験	30人	吉田北中学校周辺	中止
10月29日(日)	アサギマダラ大作戦	40人	開聞岳	9
11月3日(金)	秋の霧島ハイキング	30人	霧島市えびの高原	26
11月18日(土)	縄文の森のどんぐりを調べよう	20人	上野原縄文の森	17
12月2日(土)	プラネタリウム クリスマスコンサート	50人	プラネタリウム	33
12月3日(日)	ミニクリスマスツリーを作ろう	30人	本館3階研修室	41
12月10日(日)	木の実でクリスマスリースを作ろう	30人	本館3階研修室	40
12月23日(土)	プラネタリウム キッズ投影	80人	本館3階研修室	29
1月14日(日)	磨いて作る宝の石	30人	本館3階研修室	57
2月18日(日)	紫キャベツのカラフル実験	30人	本館3階研修室	34
2月25日(日)	煮干しの解剖	24人	本館3階学習情報室	18
3月11日(日)	街かど化石探検隊	30人	別館化石展示室	27
3月25日(日)	古道でお花見トレッキング	30人	始良市白銀坂	18

イ 楽しい実験（毎週土・日曜日， 1日3回） 年間 125 日実施

(8,652人)

月	テーマ	実験の内容	参加者数
4	シロアリとあそぼう	ボールペンで書いた線の上をシロアリが上手に歩きます。どうして迷わずに歩けるのかあそびながら考えます。	404
5	竹笛に挑戦	メダケを利用して、竹笛作りに挑戦します。太さや長さによって音がどう変わるか考えます。	2,561
6	迷路に挑戦ダンゴムシ	ダンゴムシが迷路に挑戦します。遊びながらダンゴムシの不思議な行動について考えます。	731
7	カブトムシの力だめし	カブトムシをじっくり観察し、木片を引かせたりして力を試してみましよう。	1,281
8	金魚せんすいかん発進	魚の体の中にある「浮き袋」のはたらきを、ペットボトルの中で浮き沈みする金魚せんすいかんの動きから考えます。	671
9	スズメバチをさわろう	野山で出会うと怖いスズメバチ、実験室の中で標本をさわってみませんか？羽のつくりや体に生えた毛など、新発見があります。	535
10	まわれ、独楽・こま・コマ	ペットボトルを使って作るキャップゴマとボトムゴマ。回ると色が変わって見える不思議なコマを作ってみよう。	1,043
11	草木染めを楽しもう	昔、人々の服はみんな自然のものを使った色で染められていました。草や木を利用する草木染めを試してみましよう。	206
12	ドングリであそぼう	鹿児島にはいろんなドングリがあります。ドングリで笛やこまなどのを作って昔遊びをしよう。	280
1	星砂をさがそう	与論島百合ヶ浜の浜砂から星や太陽のような形をした「星砂」を探し出して、星砂の正体を調べます。	319
2	ジュズダマでかざりをつくらう	川や田んぼの端に生えるジュズダマを使ってアクセサリなどのかざりを作ります。	329
3	とべ！ユビコプター	ペットボトルなどの身近なプラスチック材料を使って、よく飛ぶユビコプターを作って飛ばします。	292

※5月実施分には博物館まつりの参加者、11・12月実施分には移動博物館での参加者を含む

ウ 天文教室（第2・4日曜日， 1日2回） 年間20回実施

(1,381人)

期 日	内 容	参加者数
4月9日，23日	星座の形を覚えよう	96
5月14日，28日	太陽の動きを調べよう	73
5月21日	スペースプレーン	445
6月11日，25日	太陽の光を分析しよう	184
7月9日，23日	自然界にある飛行機を作ろう	189
8月13日，27日	太陽の光を調べよう	117
9月10日，24日	探査機にも使われる技術を体験しよう	83
10月8日，22日	星座のお話を調べよう	92
11月12日，26日	どこにどんな星があるか調べよう	38
12月10日，24日	飛びやすい「たこ」の条件を調べよう	64
1月14日，28日	なし	0
2月11日，25日	なし	0
3月11日，25日	なし	0

エ 博物館教養講座（初任者課題研修を含む 8/8, 9：県立博物館, 栗野岳周辺）

- ・テーマ「楽しい自然観察入門 in 栗野岳」（参加者計 41人）
- ・自然観察の仕方, 地域の自然を生かした指導方法の研修など

オ パワーアップ研修（自然観察実践講座：県立博物館）

- ・県学校教育課主催のパワーアップ研修会に本講座を開設
- ・10年経験者の希望選択により参加
- ・7月27・28日実施（小学校2人 養護学校3人）
- ・8月3・4日実施（中学校6人 高校1人）
- ・自然観察の仕方, 地域の自然を生かした指導方法の研修など

カ フィールドワーカー養成講座

（小学校9人, 中学校12人, 高校4人, 他9人 計34人） 延べ 23回 134人

- ・計画的・継続的な調査研究およびその教材化
- ・各分野における専門的かつ授業に生かせる知識や技能の習得
- ・博物館と学校および地域のネットワーク作り

キ 資料等の貸し出し

- ・各種標本, 桜島大正大噴火記録写真, 児童・生徒の研究記録, 標本作品, 自然科学教材キットなど

ク 移動博物館推進事業「博物館がやってきた」

参加者合計 1,840 人

第1回：南薩養護学校 (6/7～8) 335人
第2回：中種子町 (10/19～22) 1,505人

展 示 内 容：鹿児島と世界の昆虫, 鹿児島の天然記念物, 児童・生徒の理科作品
さわってみよう（化石）, 郷土の自然

楽しい実験：「とほうもなく冷たい世界」, 「キャップゴマ作り」などの工作や体験活動

野 外 活 動：自然観察会, 星空観察会

郷土の自然紹介授業：植物, 地質, 動物, 昆虫, 天文の5分野



フィールドワーカー養成講座



楽しい実験

平成 29 年度 教育支援活動

	件数	人数	内 容
未 就 学	1	27	ミュージアムトーク
小 学 校	19	1,103	ミュージアムトーク, 出前講座, 理科・総合授業支援, 星空観察会 など
中 学 校	16	195	職場体験, 標本づくり講習会
高 校	10	311	職場体験, ボランティア定例会, ミュージアムトーク
大 学	7	184	博物館実地研修, ミュージアムトーク
教 員	24	138	フィールドワーカー養成講座
行 政	34	17,470	出前講座, 講習会・研修会, 名付け会, 星空観察会
一般 NPO	21	785	講習会, 出前講座, 星空観察会, ミュージアムトーク
博物館事業	22	2,015	ミュージアムトーク, 博物館実習, 星空観察会 など
計	154	22,228	

教育支援活動	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	計
	4,956	7,068	621	441	9,142	22,228

ボランティア支援活動	中学生	高校生	一般	計
中・高生ボランティア		342		342
一般ボランティア			80	80
ボランティア活動合計	0	342	80	422

平成 29 年度 レファレンス集計

月	質問者数					合計
	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	
4月		6	1	1	67	75
5月	2	8			95	105
6月	2	2	7	1	99	111
7月	3	17	2		101	123
8月	8	36	10	1	136	191
9月		6	1	1	59	67
10月				3	52	55
11月		2	1		71	74
12月		3			41	44
1月		3		1	39	43
2月		1			36	37
3月		1			31	32
合計	15	85	22	8	827	957

(6) 博物館利用状況

ア 各館（室）別利用状況

(130,775人)

	本館	プラネタリウム	恐竜・化石	移動博の利用者	教育普及	29年度	28年度	27年度
4月	3,348	478	826		737	5,389	4,016	4,014
5月	9,070	1,481	2,661		11,559	24,771	21,199	15,925
6月	4,283	858	1,567	207	1,164	8,079	6,556	5,873
7月	9,163	1,920	2,772		11,933	25,788	22,971	7,904
8月	15,668	1,770	3,312		2,127	22,877	43,884	16,117
9月	4,891	675	1,224		727	7,517	8,113	5,756
10月	5,922	1,455	2,035	666	1,890	11,968	10,846	9,160
11月	5,662	523	1,492		894	8,571	12,960	9,815
12月	2,538	563	1,112		963	5,176	5,807	7,101
1月	2,755	0	0		475	3,230	5,625	4,921
2月	3,197	0	0		698	3,895	4,432	5,201
3月	3,079	0	0		435	3,514	4,881	4,691
合計	69,576	9,723	17,001	873	33,602	130,775	151,290	96,478

イ 年代別利用状況

(130,775人)

	未就学児	小学生	中学生	高校生	一般	合計
4月	818	1,087	237	75	3,172	5,389
5月	3,900	9,474	741	283	10,373	24,771
6月	1,867	2,373	252	117	3,470	8,079
7月	6,216	7,202	565	214	11,591	25,788
8月	3,629	6,575	1,010	443	11,220	22,877
9月	1,347	1,847	325	132	3,866	7,517
10月	1,174	6,213	214	263	4,104	11,968
11月	753	4,307	373	359	2,779	8,571
12月	860	1,201	86	216	2,813	5,176
1月	469	592	73	31	2,065	3,230
2月	654	581	12	143	2,505	3,895
3月	467	552	59	126	2,310	3,514
合計	22,154	42,004	3,947	2,402	60,268	130,775

ウ 館利用者の内訳

(130,775人)

	個人	団体	県内	県外	計
実数	84,422	46,353	106,159	24,616	130,775
割合%	64.5%	35.5%	81.2%	18.8%	

9 博物館利用の案内

(1) 入館の手順

ア 開館時間

9：00～17：00（入館は16：30まで）

イ 休館日

- ・毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日）
- ・整理点検日等
4/3（火）、4/25（水）、5/25（金）、6/12（火）、6/26（火）、9/10（月）、9/26（水）、
10/10（水）、10/25（木）、11/27（火）、12/11（火）、1/25（金）、2/13（水）、2/26（火）、
3/26（火）
- ・年末年始 12/29（土）、12/30（日）、12/31（月）、1/1（火）

ウ プラネタリウム

小学生以上は有料です。入場券を購入してお入りください。団体料金は30人以上の場合です。

＜観覧料の減額について＞

教育課程に基づく学習活動として利用する県内の小・中学校の児童・生徒と引率者は、使用料減免申請書を提出することにより、団体料金となります。

＜観覧料の免除について＞ 次の方は観覧料が免除されます。

- ・土曜日に限り小・中・高校生は、原則無料（教育課程に基づく学習活動を除く）
- ・身体障害者手帳、療養手帳、精神障害者保健福祉手帳の提示があった方と、その介護者1名
- ・平成30年4月1日～平成31年3月31日の期間、県内に居住する70歳以上の方で、年齢・住所を確認できる書類の提示があった場合
- ・平成30年4月1日～平成31年3月31日の期間の土、日、祝日に限り、県内に居住する小・中・高校生等（平成12年4月2日～平成24年4月1日生まれの方）で年齢・住所を確認できる場合

区 分	観 覧 料	
小・中学生	個 人	110円
	団 体	80円
高校生以上	個 人	200円
	団 体	170円

(2) 見学に要する時間と収容人員

展示室等	展 示 内 容 等	見学所要時間	収容人数
本 館	自然総合（鹿児島自然、ディスカバリールーム） 自然史応用（自然を活かす人のちえ、3D等）	40分～50分	300人
恐竜化石展示室	恐竜化石、県内産・南米産・北米産化石	20分	50人
プラネタリウム	一般投影、学習投影	30分	85人

(3) 団体見学の申込

学年・学級単位で博物館を利用する場合は、事前に電話等で博物館に申し込んでください。博物館見学の目的に応じて、資料等の提供や見学当日の案内等の相談に応じます。

ア 展示物の見学の申込

学校名（又は団体名）・学年・人数・見学時間・解説の必要性等を電話か文書で博物館本館に連絡してください。代表者が事前に来館していただき相談されても結構です。

（電話：099-223-6050、FAX：099-223-6080）

イ プラネタリウム

学校名（又は団体名）・学年・人数・希望する投影時刻・投影の内容等を電話か文書で博物館プラネタリウムまで連絡してください。代表者が事前に来館（プラネタリウム）していただき相談されても結構です。（電話 プラネタリウム事務室 080-5245-0687）

なお、投影開始時刻・投影内容は下記のとおりです。

投影開始時刻	投 影 内 容
9：40	学習投影（幼児投影、月と星、地球と太陽系など）
11：00	一般投影（四季の星空）
13：30	一般投影（四季の星空）
15：00	一般投影（四季の星空）

平成30年度 要 覧

編集・発行 鹿児島県立博物館
〒892-0853 鹿児島市城山町1番1号
TEL 099-223-6050
FAX 099-223-6080
<http://www.pref.kagoshima.jp/hakubutsukan/>
E-mail : kahaku1@pref.kagoshima.lg.jp





鹿児島県立博物館